

国領町八丁目・和泉本町四丁目周辺地区地区計画に関する原案説明会
〔第3回〕議事録（要旨）

日時：令和4年1月14日（金曜日）18時30分から20時

場所：上和泉地域センター 2階講座室

住民：6人

市：（狛江市）松野課長、富永副主幹、土橋副主幹、草野主任

（調布市）廣瀬課長、鈴木課長、熊坂主任、石倉主事、大家主事

コンサルタント：田中（㈱首都圏総合計画研究所）

（議題）

- ・地区計画原案について
- ・意見交換

1. 地区計画原案について

- ・これまでの意見や関係機関協議を踏まえ、国領町八丁目・和泉本町四丁目周辺地区地区計画原案の提案と説明を行った。

2. 質疑応答

住民：慈恵東通りは一部歩道の幅員が狭くなっている箇所があり危険である。整備計画はあるか。

市：慈恵東通りは事業認可を取得しており、幅員16m道路を整備する。ただし、オーケストアとの用地買収の継続協議中であるため、完成時期については説明できない。

住民：住工共存地区の東側の歩道はかなり狭いが、拡幅する計画はあるか。

市：着手時期は未定である。現状、調布市都市計画道路3・4・7号線は甲州街道から品川通りまで整備を進めている。住工共存地区全体は、まだ具体的な整備計画がないため、道路拡幅については今後の検討となる。

住民：東京慈恵会医科大学附属第三病院（以下「慈恵第三病院」という。）の建て替え時期や入院中の患者の移し替えはどうなるか。トラック等の騒音もあるので、建て替えが行われる時期を知りたい。新病院は現在のグラウンドあたりに建設され、狛江通り側にスペースができると認識しているが、合っているか。

市：慈恵第三病院ホームページでは、2023年秋着工、2026年竣工と掲載されている。13ページの区域Aに新病院を建設する予定である。今の病院機能を維持しながら、現状の病院棟の北側に移る。

工事車両の運行経路などについては、狛江市まちづくり条例の手続きの

中で協議する。

住民：2023年に建て替え工事が始まるということは狛江市と話がついているか。

市：現在は分散している病院機能の集約と空地の設置について話し合っている段階である。具体的な建物形状などについてはこれから話し合う。

住民：2024年に居住しているマンションの大規模修繕があるため、工事時期が重なるか心配である。

市：2023年秋着工、2026年竣工という情報はホームページで発表されている。

住民：オーケーストアがなくなると困る人も多い。オーケーストアは建物が老朽化しているが、道路幅幅によるセットバックに合わせた建て替え計画はあるか。

市：オーケーストアの担当者とは用地買収の交渉の件で定期的に会っているが、その中で建て替えの話は聞いていない。(狛江市：松野)

住民：オーケーストアは今の場所でずっと営業していくとあっていいか。

市：いつまで営業していくかは、オーケーストアの経営戦略にもよると思う。新しいオーケーストアもできたが、現状は2店舗で営業していく予定ということなので、今後どうなるかは市としては把握していない。

住民：住工共存地区の東側のマンションに居住しており、今後、大規模修繕を予定している。工事車両等が修繕に干渉する場合、時期をずらす必要があるため、建て替えスケジュールの発表時期や詳細化される時期はいつ頃か知りたい。

市：一般的な話になるが、事業者より工事の半年程前に地域の皆さんにお知らせする。

住民：住工共存地区周辺の道路の整備計画に関しては、慈恵第三病院の建て替えの話とは別か。

市：住工共存地区の道路工事に関するスケジュール等は全て未定だが、突然工事が始まるわけではない。工事の数年前から手続きが行われるので、その際にお知らせする。

市：東京都と特別区及び26市2町が計画している都市計画道路の整備方針である「第四次事業計画」は令和7年度末までであるが、今回の路線については記載がないので少なくとも令和7年度末までに測量が入る等は考えにくい。測量や説明会等時間をかけて整備していくので、優先的に整備するという位置づけがないことから、令和7年度末までに動きがみられるとは考えにくい。

住民：都市計画道路の整備は地区計画とは切り離されて考えられているか。

- 市：都市計画道路の計画と地区計画は都市計画上の位置づけが異なる。都市計画道路の整備と地区計画が関係性を持っているわけではない。
- 住民：地区計画の行政手続きと病院の建て替えに関する手続きは別物という理解をしている。今回のような説明会とは別に、慈恵第三病院が地域住民への説明会を開催する理解でよいか。
- 市：地区計画の決定は 15 ページにあるように、令和 4 年 7 月を予定している。建物の手続きは地区計画策定後であるため、それぞれの手続きは別物であると考えてよい。
- 市：狛江市、調布市のまちづくり条例の手続き上、施主側から説明の機会がある。その際に再度ご参加いただけたらと思う。
- 住民：道路が拡幅され、便利になり、交通の流れが変わると思う。警察も絡む話ではあるが、住民の安全を守るという意味で、歩行者用の信号・横断歩道の整備もお願いしたい。
- 市：ご意見として受け止め、狛江市・調布市では道路拡幅の際に住民の皆さんの安全に配慮した形で道路整備を進めていきたい。

以上